

令和8年度 シラバス 【英語コミュニケーションⅢ】

1 1 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	1 2	1 6	2
教科書			学習書・その他教材	
All Aboard! English Communication Ⅲ (東京書籍)			All Aboard! English Communication Ⅲ WORKBOOK (東京書籍)	

グラデュエーショ ン・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要なとなる勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクー リング)を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削 指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促しま す。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活 動を行います。

学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、幅広い話題について、聞いたことや読んだことを的確に理解したり、情報や考えなどを伝えたりする基礎的な能力を育成する。

学習内容

単元名・教 材	学 習 活 動	評 価 方 法	
Lesson1 Gifts to Barcelona Lesson2 Akkamui Lesson3 Your True Colors Lesson4 Our Future Food? Lesson5 Madagascar	施設・建築物を外国人観光客に勧める。 ざんねないいきものについて紹介する。 人にさせたことやしてもらったことを書く。 制服に賛成／反対の意見と理由を書く。 地域の自然についてのプレゼンテーション をする。	第1回レポート 第2回レポート 第3回レポート 第4回レポート 第5回レポート 第6回レポート	前期 試験 範囲
Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors Lesson7 Green Challenges Lesson8 Witnesses of War Lesson9 The Wonders of Lightning Lesson10 Katherine's Long Journey	訪れてみたい史跡について書く。 エネルギー問題について調べて書く 自分の経験から学んだことについて書く。 環境問題についてミニディベートをする。 尊敬している人物について書く。	第7回レポート 第8回レポート 第9回レポート 第10回レポート 第11回レポート 第12回レポート	後期 試験 範囲

学習方法

《レポート》英語の様々な表現を学びます。レポートの問題は、教科書や学習書をよく読み、必要に応じて辞書を使いながらすすめましょう。指示をよく読んで、計画的に取り組んでください。

《授業》授業では、レポートの問題をいくつか取り上げて解説します。授業を受ける前にレポートの問題をやって疑問点などを確認しておきましょう。

《平日スクーリング》普段の授業ではできない英語でのコミュニケーション活動や異文化に触れる講義を受講して英語の楽しさや面白さを実感してください。

《放送視聴》指定された番組を聴いて、放送内容をレポート冊子の巻末にある放送視聴報告書にまとめます。レポートに添付して提出、合格すれば義務時数の代替になります。1回の提出につき報告書2枚の添付が可能です。レポート作成の参考になる内容も多いです。上手に学習に取り入れてみましょう。

《試験》レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容をきちんと復習して受験しましょう。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身につけようとしている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしようとしている。	外国語の学習を通して、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
レポートの作成を通して、教科書の内容をしっかりと理解できるようにしましょう。NHKの高校講座を聴いたり、授業に出席したりして、英語の発音やリズムに慣れ親しんでください。